

大分川下流域における河川空間の利活用に関するサウンディング型市場調査についての質問・回答

寄せられた質問について、次のとおり回答いたします。

No.	質問項目	質問内容	回答
1	参考資料① P6	堤内地の多目的広場は文化財課の所管のようですが、再整備の可能性はありますか。	大分川下流域かわまちづくりでは、“かわづくり”と“まちづくり”が一体となった良好な水辺空間の形成を目指しています。堤内地の多目的広場につきましては、『史跡大友氏遺跡整備基本計画（第1期）』に基づき、現行の多目的広場と大分川堤防の間の指定・公有化を進め、公有化後には基盤整備を行い、公開・活用を図る予定です。本格整備につきましては、第2期計画で検討していく予定です。
2	参考資料① P6	多目的広場の南側に空き地がありますが、整備の方針はありますか。	大分川下流域かわまちづくりでは、“かわづくり”と“まちづくり”が一体となった良好な水辺空間の形成を目指しています。多目的広場の南側の空き地につきましては、『史跡大友氏遺跡整備基本計画（第1期）』に基づき、指定・公有化を進め、公有化後には基盤整備を行い、多目的広場と一体で公開・活用を図る予定です。
3	参考資料① P6	多目的広場と大分川堰堤との間に民地があり、溝のようになっていますが、用地買収の計画はありますか。	当該地の一部につきましては、令和3年6月、国の文化審議会により、国史跡に追加指定の答申がなされており、今後、公有化に向けた取り組みを進める予定です。またその他の部分につきましても、指定・公有化を進め、公有化後には基盤整備を行い、多目的広場と一体で公開・活用を図る予定です。
4	参考資料① P6	周辺には未利用地が多く存在しますが、土地利用計画あるいは土地買収計画はありますか。	No.2・3に同じ
5	参考資料① P6	河川内に荒地（ヨシ原あるいはガマ群落？）がありますが、これらについての方針は決まっていますか。（保護あるいは撤去）	河川内の荒地を含めた整備方針につきましては、現在、検討中です。整備内容につきましては、登録するかわまちづくり計画の内容に応じて、今後、検討していく予定です